

教育復興闘争、大学法反対運動、イールズ事件、  
レッド・パージ反対運動――  
占領下において学生自治会は学生運動をどのように  
展開したのか。

# 占領下の

# 学生自治会と

# 学生運動

著 ● 田中智子  
TANAKA Satoko

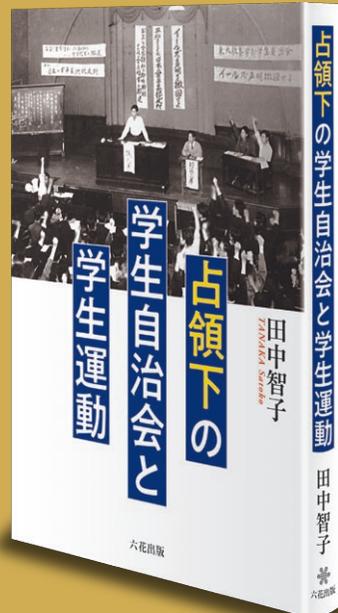
## 歴史資料から明らかにする敗戦直後の学生自治会

最近でも学費値上げ問題などにおいて、学生同士で諸問題について話し合い、大学との対話を実現する場として学生自治会が存在感を示している。ただし、学生自治会の歴史は大学の沿革史などできりあげられることが少なく、不明な点が多い。

大学アーカイブズ・学生運動史の専門家である著者は本書で、敗戦直後の学生自治会の代表例である東京大学・京都大学・早稲田大学の学生自治会の発足時の実態を、各大学所蔵の一次資料、「日本占領関係資料」(国会図書館)などを駆使して明らかにしている。

また、敗戦直後の大学学生自治会は占領軍によって上から与えられた組織であった(いわゆる「ボツダム自治会」という従来の見方についても、歴史資料にもとづいた検討を加えている。大学沿革史・学生運動史研究・占領期研究史に関わる方々を含め、大学に関心を持つ幅広い皆さんに読んでいただきたい。

(とみおか・まさる 近畿大学)



2025年  
1月発売!

A5判・上製・272ページ  
定価 4,500円+税  
(税込4,950円)  
ISBN978-4-86617-264-4

おもに運動をリードした東京大学・  
京都大学・早稲田大学を対象に、  
学生運動関係資料・学内資料・  
占領軍と共産党関係の資料にもとづき、  
戦前期の学生自治組織の設立から  
戦後初期／占領下の学生自治会の  
成立過程とその背景を明らかにする。

電子書籍版も同時刊行!

詳細は弊社HP電子書籍の案内ページをご覧ください

序章

- 第一節 問題関心および研究の目的
- 第二節 先行研究と本書の位置
- (一) 大学沿革史
- (二) 戦後学生運動史
- (三) 占領期高等教育史研究
- 第三節 研究対象・方法
- (一) 研究対象・視座
- (二) 研究方法・資料
- 第四節 本書の構成

第一章 明治・昭和戦中期における学生自治組織確立・改革運動の系譜

- 第一節 旧制大学における学生自治組織の萌芽
- (一) 明治・大正期の帝国大学における学友会組織の設立
- (二) 官公私立大学における学生組織の成立
- 第二節 学生連合会と学友会改革・学生自治組織設立運動
- (一) 学生連合会の成立と学友会改革運動
- (二) 京都学連事件と京都帝国大学における学友会改善運動
- (三) 官公私立大学における学生自治組織設立運動
- 第三節 共産青年同盟指導下の学生自治組織
- (一) 学連の解体と共産青年同盟指導の開始
- (二) 自治学生会の結成
- (三) 「学生自治会」の結成
- (四) 滝川事件と学友会改革運動
- 第四節 戦時下における統制組織
- (一) 学校報国団設立指示
- (二) 学校報国団組織の設立
- (三) 学友会組織から学校報国団組織への改組

第二章 戦後の学生自治会成立の背景

- 第一節 政府・占領軍の民主化政策
- (一) 校友会の新発足
- (二) 文部省の学生自治に対する見解
- (三) 占領軍の学生自治に対する見解
- 第二節 学生たちの動向
- (一) 戦後学園民主化運動
- (二) 社会科学研究会の再建・発足
- (三) 日本共産党学生細胞の再建
- 第三章 一九四八―五〇年における全国的な学生運動の高揚と政府・占領軍、共産党、学生たちの動き
- 第一節 政府・占領軍の動き
- (一) 「大学理事會案」・「大学法案」
- (二) CIEのレッド・パージ方針とイールズ講演
- (三) 学生自治会・連合組織との接触
- 第二節 共産党の動き
- (一) 学生運動に対する党中央の指導
- (二) 共産党の分裂と全学連との決裂
- 第三節 学生たちの動き
- (一) 教育復興闘争と学生自治会連合組織の結成
- (二) 大学法反対運動
- (三) イールズ事件とレッド・パージ反対運動

第四章 東京(帝国)大学における学生自治会結成とその活動

- 第一節 全学会の解体から全学学生自治会の設立
- (一) 全学会の解体
- (二) 学部の再建と全学学生自治会結成への模索
- (三) 全学学生自治会の設立
- 第二節 教育復興闘争から全学連結成
- (一) 共産党東大細胞の再結成
- (二) 教育復興闘争と全学連の結成

第五章 京都(帝国)大学における同学会の再編とその活動

- 第一節 敗戦直後の同学会改革
- (一) 同学会改革への動き
- (二) 協議委員選挙改革とメンバー構成
- (三) 「同学会規則」改正
- 第二節 全国的な学生運動の高揚と京都大学内部の相克
- (一) 一九四八年の学生運動と同学会の対応
- (二) 中央顧問・各学部自治会の対応
- 第三節 一九四九年における「京大事件」と学内自治機構改革
- (一) 一九四八―一九九年の動き
- (二) 二つの「京大事件」の概要
- (三) 同学会および共闘委の動き
- (四) 「大学の自治」についての論争
- (五) 同学会改組におけるCIEの助言
- 第四節 全京都民主戦線統一会議への加入と平和擁護運動
- (一) 全京都民主戦線統一会議への加入
- (二) 平和擁護運動とレッド・パージ反対運動

第六章 早稲田大学における学生自治会の結成・再編およびその活動

- 第一節 発足当時の自治会規程・機構、およびその活動
- (一) 早稲田大学学生自治会の発足
- (二) 自治会規程の制定と自治機構の設立
- (三) 発足当初の活動
- 第二節 一九四八年の学生運動と教員側の対応
- (一) 教育復興闘争における自治会の動きと教員側の対応
- (二) 全学連結成後の学生運動と教員側の対応
- 第三節 自治会規程改正論議から自治会「非公認」へ
- (一) 自治会規程改正論議
- (二) 学生自治会の「非公認」化
- 第四節 「非公認」後の学生自治会とレッド・パージ反対運動
- (一) 新たな自治機構の模索
- (二) 私立学校法反対運動
- (三) レッド・パージ反対運動

終章

- 第一節 本書が明らかにしたこと
- (一) 戦後学生運動における東京大学・京都大学・早稲田大学の学生自治会の役割と特質
- (二) 学生自治会における戦前戦後の連続・非連続
- (三) 戦後の学生自治会と共産党、占領軍、教職員との関係性
- (四) 戦後初期の学生自治会と学生運動の特質
- 第二節 本書の学術的貢献と残された課題
- (一) 学術的貢献
- (二) 残された課題

著者紹介

**田中智子**(たなか・さとこ)  
 二〇〇四年 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科発達社会科学専攻 修了  
 二〇一二年 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科人間発達科学専攻 単位取得退学 博士(社会科学)  
 二〇一七年 学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻 修了  
 現在 学校法人神奈川大学大学資料編纂室勤務

●弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください。  
 お急ぎの場合は小社に直接ご連絡ください。電話03(32693)8787

Fax 03(32693)8788 電子メール info@rikka-press.jp

注文カード

帖合・貴店名

〈八木書店経由〉

注文数

定価●四、九五〇円(税込)  
 ISBN978-4-86617-264-4

占領下の学生自治会と  
 学生運動

発行 二六花出版 著 田中智子

お名前

お電話番号

注文 年 月 日